



岡垣町こども計画ってなあに？

町では、こども施策を総合的かつ一体的に推進していくため、令和7年3月に「岡垣町こども計画」を策定しました。今回の特集では、「岡垣町こども計画ってなあに？」をテーマに、その内容を分かりやすく紹介します。

問い合わせ こども未来課



01

岡垣町こども計画ってどんな計画？

日本国憲法と児童の権利に関する条約の考えに沿って、全てのこどもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会を目指した「こども基本法」が令和5年4月に施行されました。

町では、これに合わせて「岡垣町こども計画」を策定。こどもや若者一人一人が、自分の存在を大切に感じ、自分らしく幸せに成長できるように、みんなできより良くしていく「こどもまんなか社会」の実現に向けた町の目標や取り組みをまとめています。

社会全体の取り組みを進めることで、こどもや若者、子育て当事者はもちろん、住民の皆さんの幸福度の向上と持続可能な明るい岡垣町の未来を目指します。



計画期間：令和7年度
～令和11年度

児童の権利に関する条約 (子どもの権利条約)

世界中の全てのこどもたちが持つ人権(権利)を具体的に定めた国際的な約束事です。



この条約は、こどもが守られる対象であるだけでなく、権利を持つ主体であることを明確にしています。また、こどもたちが心も体も健やかに成長するために必要な“こどもならではの”権利も定めています。



こどもたちの成長やチャレンジを
社会全体でサポート！

こども基本法のことをもっと詳しく▼

こども基本法

検索



こども家庭庁のホームページに分かりやすいパンフレットやクイズ動画もあるよ！

02

どうやって作ったの？

あなたやお友達の意見が
計画に載っているかも！

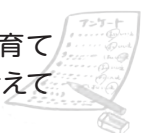


岡垣町こども政策推進協議会

保育所や幼稚園、小・中学校の先生、小児科の医師など、こどもに関わっている人たちと一緒にこどもや子育てを応援するために必要なことなどを話し合いました。

アンケート

小・中学生や15歳～39歳の人、子育て中の保護者を対象に今の気持ちや日頃考えていることなどを聞きました。



ワークショップ

こども・若者が集まり、自分たちが抱えている今の気持ちや意見を伝え合いながら、こどもまんなか社会に近づくためにはどうしたら良いかをみんなで一緒に考えました。

パブリックコメント

岡垣町こども計画の案を町公式ホームページやこども未来館などの町内の施設で公開し、意見を募集しました。





03

どんな未来になるの？



目指す町の姿

全てのこどもを大切に。全てのこどもが自分らしく！
将来（あす）への希望が輝くまち 岡垣

目指す町の姿には次の2つの想いを込めています。

- 大人や社会は、これからも全てのこどもが社会の立派な一員であることを理解し、尊重していく
- こどもたちの願いや意見を聴き、こどもが自分らしく暮らし、夢や希望を持って叶えていける岡垣町を大人とこどもと一緒に目指していく

「目指す町の姿」を達成するための4つの基本目標

基本目標Ⅰ 全てのこどもが持つ権利の保障

まちづくりは大人だけでするものではありません。暮らしやすい岡垣町をつくるため、社会の一員であるこどもも意見を伝えることができ、社会に参加できる機会を増やしていきます。



基本目標Ⅱ こどもが健やかに育つための成長段階に応じた環境づくり

自分らしく、毎日を元気に夢や希望を持って暮らせるように、こどもの生活を支え、チャレンジすることを応援します。



基本目標Ⅲ きめ細やかな対応が必要なこどもへの支援

悩んだり、困難な状況に置かれたりしたときに、それを乗り越えられるように支えます。



基本目標Ⅳ 結婚・子育ての希望を叶え、こどもを安心して産み育てられる環境づくり

「結婚したい」「こどもを育てたい」と思ったときに、その希望が叶えられるような社会にしていきます。

こどもまんなか社会を
応援する大人たちの声

岡垣町こども政策推進協議会
会長 早川 晴司 さん

「こどもまんなか社会」を目指すためには、保護者がこどもとしっかり向き合える時間をつくれるような社会にすることが大切です。こどもたちが恐れずにチャレンジすることをサポートし、失敗しても叱らない。このような社会になれば、こどもたちが興味を持ったことに自由に取り組み、成功体験を積み重ねられます。そして、こどもたちには、さまざまな経験を生かして自分が育った環境に恩返しをすることで次の世代にバトンをつないでほしいです。皆さんの未来がより豊かになる社会を私も一緒に築いていきたいです。

「岡垣町こども計画」では、地域や成育環境による格差がなく質の高い学びができることや長所を伸ばし才能を開花させるという「こどもの新たなチャレンジの応援」が魅力的と感じました。こどもの将来を見据えた取り組みだと思います。また、こどもや子育て世帯の目線に立ち、個々の事情や意向に寄り沿い、安心してこどもを育てられる環境づくりに努めることがしっかりと盛り込まれています。



こども家庭庁
地方連携推進室
山内 克也 さん



いま、大人に伝えたい。私たちが考えていること。 ～こども・若者ワークショップ2025～

「こどもまんなか社会」を実現するためには、大人や地域がこどもの意見を尊重しながら、こどもにとって最も良いことは何かを考え、取り組みを進めていく必要があります。そのため、「岡垣町こども計画」でもこどもたちの声を聴くことを大切にしています。

そこで、まずこども自身が意見を出し、考えを表現するとともに、社会に参加するきっかけとなるように今年もワークショップを開催しました。今回は、小学5年生～高校1年生の21人が参加してくれました。

こどもたちは今、どんな思いや考えを持ち、どんな未来を描いているのでしょうか。

笑顔で意見を出し合うこどもたちの姿

5つのグループに分かれ、3つのテーマについて意見をまとめました。最初は少し遠慮がちに始まった話し合いも、お互いにうなずき合ったり笑顔を交わしたりしながら、真剣に意見を出し合う姿が印象的でした。最後の発表では、どのグループも生き生きとした表情で、自分たちの意見を堂々と伝えていました。



テーマ2

こんな学校だったらいいな

- 自習室が欲しい
- オンライン授業をしてほしい
- 自分たちで行事を考えたい
- 選挙についてもっと教えてほしい
- 教科書をデジタル化してほしい
- 給水機がほしい など



テーマ1

こんな時が幸せ

- みんなが笑顔のとき
- 褒められたとき
- 家族といるとき
- 目標を達成したとき（成績が良かった、100点をとったとき） など

テーマ3

こんなこと知ってもらいたいなあ

- ガードレールや街灯を増やしてほしい
- もっと地域の人と関わりたい
- 褒めてもらうために頑張っているときがあること
- 一人での時間が必要なこと など



参加者インタビュー



小学5年生 小林 暖さん

初対面の人と仲良くなれて楽しかったし、うれしかったです。またワークショップがあれば、「将来のこと」「困っていること」などをテーマに話し合ってみたいです。



小学6年生 尾崎 滯さん

初対面でしたが、4人で話しながらこどもまんなか社会についてたくさん考えることができました。大きな紙が埋まるくらいたくさん意見を書くことができて、ここまでできるんだと思い、とてもうれしくなりました。



中学2年生 秋竹 桜良さん

自分が考えていることと同じことや似ている意見をもっている人もいれば、思っている以上の意見を出している人もいて、すごいと思いました。また、初対面の人と最終的に仲良くなれてよかったです。



高校1年生 古賀 楓さん

全員初対面でしたが、いろいろな年齢の人の意見を聞き、自分の意見と比較することができました。また、他の人の意見の中に自分もこうだったらいいなと思う意見もありました。

ファシリテーター
岡垣町社会福祉協議会
田之上 亮太さん

初めは少し緊張していたこどもたちが、次第に椅子から立ち上がり身を乗り出して意見を交わす姿に頼もしさを感じました。どれも“こどもたちだからこそ”の柔軟な発想やアイデアで、私にとってもたくさんの発見がありワクワクする時間でした。

自分がこどもだった頃を振り返ると、目の前にいるこどもたちと同じように全力で毎日を過ごしていたことを思い出します。だからこそ、大人になった今、自分の経験や知識だけを頼りにこどもたちのことを「分かったつもり」で物事を決めていくのではなく、時にはこどもの頃の気持ちを思い出し、目の前のこどもたちの声を尊重できる大人でありたいと思います。

大人もこどもも一緒に、みんなでこの町の未来をつくっていきましょう。

参加者へのメッセージ
募集中！

ワークショップに参加した皆さんが考えた意見を町公式ホームページに掲載しています。また、岡垣サンリーアイにも10月19日(日)まで意見をまとめた模造紙を掲示しています。大人もこどもも大歓迎！意見を伝えてくれた皆さんにぜひメッセージをお願いします。



ぼくもわたしも、未来をつくる主人公だ！

今回は「岡垣町こども計画」を紹介しましたが、いかがでしたか。こどもに関する取り組みを進めるとき、その当事者であるこどもたちの意見を聴くことが重要です。家庭や地域でも、改めてこどもたちの声に耳を傾けてください。こどもや若者の皆さんは、これからもさまざまな意見や思いを聴かせてください。

こどもまんなか社会を進めるために、まずは「こども基本法」と「岡垣町こども計画」を知ることから始めてみませんか。計画書は町公式ホームページから見ることができ、内容を6ページにまとめた「概要版」と、こどもにも読みやすい「やさしい版」もありますので、ぜひ気軽に読んでみてください。

未来を担うこどもや若者が、自分らしく暮らしながら夢や希望を持って叶えていける岡垣町をつくっていきましょう。

